【特集】今、あらためて“JUSTICE”とは

JUSTICEは、国立大学図書館協会（JANUL）のコンソーシアムと公私立大学図書館のコンソーシアム（PULC）が合併して、2011年4月に設立された組織です。2021年に10周年を迎えたばかりです。

JUSTICEは、「大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議」の下に設置されています。同じく連携・協力推進会議の下に設置されている「これからの学術情報システム構築検討委員会」（NACSIS-CAT・ILLなどの総合目録データベースの強化を企画立案）や連携・協力推進会議と連携して活動している「オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）」とも協力関係にあります。

会員 551館

国立	87
公立	77
私立	372
その他	15
(2022.4.1現在)	

JUSTICEは会員館からの委員で組織される運営委員会、作業部会と会員館からの出向職員で構成される事務局で運営されています。

JUSTICEの 目的及び事業

JUSTICEは、電子ジャーナル等の電子リソースに係る契約、管理、提供、保存に係る総合的な活動や、それらの業務に携わる人材の育成等を通して、わが国の学術情報基盤の整備に貢献することを目的としています。

上記の目的を達成するために、次の事業を行うこととしています。

- 出版社等との交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定
- 電子ジャーナルのバックファイルや電子コレクション等の拡充
- 電子リソースの管理システムの共同利用
- 電子リソースの長期保存とアクセス保証
- 電子リソースに関わる図書館職員の資質向上
- その他必要な事業

★ 出版社等との交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定

JUSTICEでは標準的な提案について出版社と交渉を行い、合意した内容を「提案書」という形で会員館へ提示します。この提案書を基にして、各会員館が契約・支払を行うこととなります。

【2022年向け契約の交渉結果】

- ・合意出版社：56の出版社（海外48、国内8）
うちオープンアクセス出版へ向けた転換契約（Read & Publishモデル※）：4提案
- ・会員館の電子資料費総額（2022年）：約414億円

※Read & Publishモデル…従来の購読料と、著者が投稿論文をオープンアクセス出版する際に支払う論文出版料をセットにした契約モデル

★ 電子ジャーナルのバックファイルや電子コレクション等の拡充 電子リソースの長期保存とアクセス保証

国立情報学研究所の電子アーカイブ事業（NII-REO）と連携し、共同で導入すべきコンテンツについて運営委員会や交渉作業部会において検討・選定を行い、版元等との価格交渉を行っています。

NII-REOに収録しているコンテンツには、電子ジャーナルアーカイブと人社系コレクションがあります。

電子ジャーナルアーカイブは、JUSTICEなどで契約したジャーナルについてアーカイブし、契約機関に提供しています。電子ジャーナルアーカイブには一部**ナショナルアカデミックライセン**スとなっているものがあります。

【収録コンテンツ】

- [Springer Science+Business Media](#)
- [Oxford University Press](#)
- IEEE/CS
- Kluwer Academic Publishing
- [Taylor & Francis](#)

※下線のコレクションに**ナショナルアカデミックライセンス**が適用されています。適用機関であれば、本文PDFの閲覧は無料ですが、利用のためには機関登録が必要です。

人文社会科学系電子コレクションは、人文社会科学分野における研究活動に不可欠な原資料をオンラインで利用可能としたコレクションを提供するもので、本文の閲覧は別途出版社との購読契約が必要です。

【収録コンテンツ】

- 19th C & 20th C House of Commons Parliamentary Papers (HCPP)
- 18th C House of Commons Parliamentary Papers (HCPP18th)
- Making of the Modern World: The Goldsmiths'-Kress Library of Economic Literature 1450-1850 (MOMW)
- The Making of the Modern World, Part II (MOMWII)
- Eighteenth Century Collections Online (ECCO)
- Early English Books Online (EEBO)

★ 電子資料に関わる図書館職員の資質向上

- 会員館職員向けの研修会の実施
- JUSTICE事務局への実務研修生の受入
- JUSTICEの活動を紹介する広報誌（本誌“jusmine”）の作成
- 各会員館の契約実務に直接役立つ資料の作成・提供

(→資料の詳細は4ページ参照)

2022年度JUSTICE活動予定

2022年度のJUSTICEの活動予定をお知らせします。

JUSTICEでは、電子資料契約に関わる様々な情報を発信して皆さまの日常業務をサポートしていますので、ぜひご活用ください。（現時点では日程が未定のものもあります。）

【注意】 出版社交渉に関わる内容や提案書、各種イベント・調査結果は**JUSTICE会員館限定**の情報です。

提案書と版元提案説明会

提案書は、JUSTICEが出版社と交渉し合意した会員館向けの契約条件を記したものです。

版元提案説明会では、出版社のプレゼンテーション（全体説明）や個別相談の機会等、会員館の皆さんに提案内容の説明や出版社の各種情報を入手する場を提供します。気になる提案書は事前にチェックして、直接出版社へ尋ねてみましょう。また、ヘルプデスクを設けて、JUSTICE委員が皆さんからの質問にお答えします。

版元提案説明会のスケジュール等詳細は7月中旬からJUSTICEウェブサイトですぐお知らせします。

JUSTICEで実施している調査

契約状況調査

JUSTICE会員館の契約状況について、年1回の調査を行っています。調査結果は、JUSTICEウェブサイトですぐ会員館に公開しています。電子ジャーナル購読タイトル数の推移や出版社別契約状況などコンソーシアムの状況を知ることができます。

論文公表実態調査

国内研究者の論文公表の実態を調査し、JUSTICEウェブサイトですぐ会員館に公開しています。最新版は2021年度版で、2012～2020年に日本の機関に所属する著者が責任著者となっている論文の分析を行っています。

【トピック】 お役立ち文献・ツールご紹介

参考となる図書 [市販のもの]

はじめての電子ジャーナル管理 / 保坂睦著 (JLA図書館実践シリーズ, 35)
日本図書館協会, 2017.7 ISBN : 9784820417057

科学の困ったウラ事情 / 有田正規著 (岩波科学ライブラリー, 247)
岩波書店, 2016.2 ISBN : 9784000296472

学術出版の来た道 / 有田正規著 (岩波科学ライブラリー, 307)
岩波書店, 2021.10 ISBN : 9784000297073

科学者をまどわす魔法の数字,インパクト・ファクターの正体 : 誤用の悪影響と賢い使い方を考える / 麻生一枝著
日本評論社, 2021.1 ISBN : 9784535789296

※JUSTICEウェブサイトの「参考情報」にも関連文献等を掲載していますのであわせてご覧ください。
JUSTICEウェブサイト > 参考情報 <https://contents.nii.ac.jp/justice/documents>

契約実務に直接役立つ！ 参考資料 [JUSTICE会員館限定]

『電子資料契約実務必携』 2022年3月に6章2節「利用統計の取得と活用」を改訂
電子資料の契約の実務にあたり、必ず手元に置きたい入門書・教科書です。巻末に
用語集と参考文献も掲載しています。

『はじめての出版社交渉』
新任交渉担当者向けに、2017年度に行われた出版社交渉の中で実際に使われた
テクニックやポイントと、長年の交渉経験者へのインタビューから見えた交渉にお
ける留意点を、まとめて紹介しています。

『電子ジャーナルに関する学内向け説明資料：素材集』 2021年3月改訂
会員館において、電子ジャーナルなどの学術情報基盤に係る現状や課題について、
全学的な理解を深めていただくための学内向け説明資料です。

会員館では、JUSTICEウェブサイト (会員館限定) からダウンロードできます。ぜひご活用ください。

会員館限定ページ > 『電子資料契約実務必携』

会員館限定ページ > その他会員向け情報 > セルフラーニング > 『はじめての出版社交渉』
『電子ジャーナルに関する学内向け説明資料：素材集』

他にも、ウェブサイトには、電子資料契約見直し事例集など多くの参考となる情報が掲載されています。

ご意見・ご要望があればいつでもJUSTICE事務局 (justice-help@nii.ac.jp) までお寄せください。

<https://www.nii.ac.jp/content/justice/> ジャスミン第44号 2022年4月28日発行
発行人:JUSTICE運営委員会委員長 濱生 快彦 編集:JUSTICE広報作業部会